

エコネット城南

こども特集号

【行政広報】

編集発行 城南衛生管理組合 総務課

2018年(平成30年)7月発行

〒614-8511 京都府八幡市八幡沢1番地 TEL 075-631-0772 FAX 075-631-7296

HPアドレス <http://www.jyonaneikan.jp> eメール info@jyonaneikan.jp

※パソコンで「声のエコネット城南」(声の広報)を聴くことができます。詳しくは組合ホームページをご覧ください

城南衛生管理組合は宇治市・城陽市・八幡市・久御山町・宇治田原町・井手町が環境廃棄物行政を推進するための特別地方公共団体(一部事務組合)です。

時代とともに変わる生活

～過去を知ること未来が見える～

昭和9年(1934年)生まれ 84歳

この世代の人がみんなと同じくらいの年齢の時は、日本は戦争中で集団疎開(空襲から逃れるために地方に移ることを)していました。



『食料が不足していたので、小麦粉等の穀物の粉をこねて「すいとん」という食べ物を作りました。味も良いとはとても言えませんでした。』

当時は法律で、生活に必要な物が配給制(国が物の配分を決めること)で回数や量が管理されていたため、食べ物の量も十分ではなかったそうです。

これからを担うみんなへのメッセージ

今は、食べ物が余って捨てたりしているが、昔は食べ物が足りなかった。みんなも食べ物は大切にしてほしいです。



84歳

僕らの頃は兄弟・近所で物を長く大切に使っていました。今は、使い捨てが増えていますが物を大切にするという気持ちを忘れないでほしいです。



60歳

みんなは過去の生活がどのようなものか知っているかな。今年が成年なので、小学生のころの生活について成年の人に聞いてみました。今回、紹介するのはほんの一例で、他にもたくさんあると思います。もうすぐ夏休み。家族や親せきの人にも聞いて勉強してみよう。

昭和33年(1958年)生まれ 60歳

この世代の人がみんなと同じくらいの年齢の時に、「ドラえもん」の連載が始まりました。大阪で万国博覧会(太陽の塔のところ)が開催されたのもこの頃です。



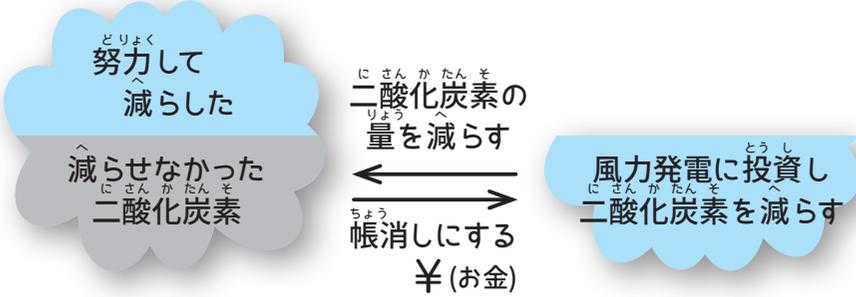
上の写真は二槽式洗濯機と呼ばれるタイプの洗濯機で「洗う槽」と「脱水槽」に分かれています。

現在では、一体型の全自動洗濯機が増えてきて、使っているお家は減ってきています。『ちょっと手間がかかるけど、汚れが落ちやすい』というお話でした。

『お風呂や洗濯機を使うときには、昔は手作業で進めていたけど、今ではほとんど自動で進めてくれるので「スイッチ入れておしまい」ってなるのが「ホント便利になった」とのお話でした。

『でも、便利にはなったけど、それが当たり前になって物があることへの感謝の気持ちが薄くなって来ている』と感じるそうです。

カーボンオフセットの仕組み



みんなもカーボンオフセットに取り組んでみよう

地球温暖化はみんなにも関わっていることなので、「今日は電気をたくさん使ったから、明日は省エネ」のように身近なところから地球のために取り組めるのが「カーボンオフセット」です。1人では小さなエコでもみんなで取り組めば大きなエコとなり地球を守ることができます。

ぜひこの夏休みは地球のために省エネなどのエコに取り組んでみてください。だけど、体調管理が一番大切なので、元気に夏休みを過ごしてくださいね。

- 『夜更かしで電気をたくさん使ってしまったなー』
- 『昨日はテレビを見すぎたんだよなー』
- 『エアコンを消すのを忘れて出かけちゃった…』
- そんなときは… などなど
- 『歩きや自転車での外出を呼びかけてみよう』
- 『エアコンのいない涼しい朝に勉強してみよう』
- 『昼間は電気をこまめに消すようにしよう』 などなど

ここで紹介したのは、ほんの一例です。みんなも地球のために自分から挑戦してみよう。

かんきょう ちよっと進んだ環境のお話

～新たなエコに
取り組むのは君たちだ～



地球温暖化のいま

「地球温暖化」って言葉はみんなも聞いたことがあると思います。温室効果ガスが地面からの熱を逃がさないようにしてしまいい、地球がどんどん暖かくなってしまいう世界共通の問題です。

このため、平成27年には日本を含めた世界の約200の国・地域が協力して、温室効果ガスの排出量を今世紀後半までに実質ゼロにすることを目標とした「パリ協定」という約束をしました。

国や企業は、製造に使う熱を効率良く使用する

温室効果ガスが熱を逃がさないため地球が暖まり、異常気象や海面上昇の原因となります。



る、電気は太陽光や風力などで発電した電気を使う、建物の空調設備をより省エネなものに変えるなどの温暖化対策をしています。

カーボンオフセット

しかし企業が減らす取組を進めてもその量には限界があります。そこで、減らすことができない量を埋め合わせる仕組みとして、「カーボンオフセット」という制度があります。(左上图)

企業の努力で減らせなかった分を森林の保全や植林、風力などの再生可能エネルギーでの発電の支援などにお金を使うことで、その支援により減らした量と企業が減らすことができなかった量をオフセット(帳消し)したりしています。

夏休み親子体験教室

申し込みは、
エコ・ポート長谷山へ

7月23日(月) 8時30分から
電話で先着順にて受付をします。
(29日(日)のガラス教室及び
8月4日(土)の衣服教室は
7月3日(火)から受付中です。)
エコ・ポート長谷山の場所は
右の地図を見てください。



この夏、エコ・ポート長谷山で工作教室を開きます。
使わなくなった布やガラスやペットボトルなどを使って作る
エコな工作教室に、ぜひ参加してみてください。

☎ 0774-56-5556 (休館日:水・木曜日)

8月4日(土)

ガラス教室
「モザイクアートと
びん底のサンド」

時間: 10時~12時
13時~15時
参加料: 500円(親子ペア)
定員: 各回5組10人



水を入れて吹くと、
ピヨピヨ音が鳴ったり、
シャワーになったりします。



7月29日(日)

衣服教室
「ペットボトルの
小物入れ」

時間: 10時~12時
13時~15時
参加料: 100円(親子ペア)
定員: 各回5組10人



8月12日(日)

リサイクル教室
「スマホスピーカー」 or
「ペットボトルで作るバズーカ砲」
おまけ「ピヨピヨシャワー」

※親子でどちらかの作品1つを作ります
時間: 10時~12時、13時~15時
参加料: 無料 定員: 各回10組20人

